

脳力開発プログラム概要

目次



はじめに

オーバルリンクの事業目的

脳力開発とは？

脳トレと一般メンタルトレーニングの違い

高まる脳科学の必要性（参考資料）

はじめに

- ▶ 昨今、本当の豊かさとは何か、様々な業界で問われ、研究されています。
- ▶ 心を豊かにするライフスタイル、またその方法に関する需要が高まりつつも、漠然な期待感を以ってした教育が多数占めていると考えております。
- ▶ 今回のご提案は、大脳生理学、心理学、その他実績からの裏付けをもとに構成された脳力開発プログラムを、貴社を通じて、様々な業界へ周知、活用のご依頼をさせていただく上で、それらメリットのご紹介です。

脳力開発は、人の主体性を生理的に育むトレーニングです。

より良い未来の構築、繁栄に貢献できるものであると確信しております。

オーバルリンクの事業目的

- ▶ 主観的幸福度の向上
- ▶ 人間的成功・社会的成功の両立化

弊社がご提案するプログラムにおいて、

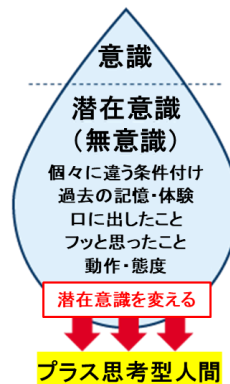
個人がもつ **主観的幸福感が一番のカギ**となっております。

幸福感を向上させることで、非常に高いパフォーマンスを発揮させるのが狙いです。

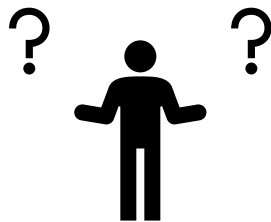
脳力開発とは？

成功のためのプログラムを、
生理反応に落とし込むトレーニングです

- ▶ 幸福感と成功の両立がテーマ
- ▶ 強固なメンタル耐久力の獲得
- ▶ 真のプラス思考の獲得



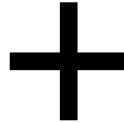
脳トレと、その他一般的なメントレとの違い？



メンタルトレーニング

- ・ 今ある力を本番で発揮できるようにする
- ・ 元々ある能力を本番でそのまま出せるようにする

発揮能力



ブレイントレーニング

- ・ 日常から脳を最高の集中状態で取組み、潜在能力を発揮させる
- ・ 今ある能力を引き上げていく

保有能力

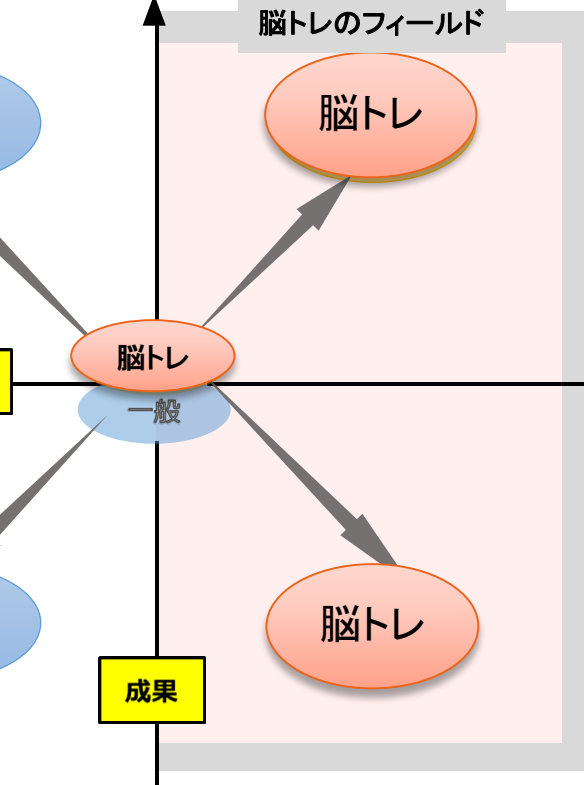


脳力開発

ここぞという時に力を発揮させる能力と、平常時や日常からの力を高めていく能力。
これら要素を併せ持つトレーニングが、脳トレーニングの特徴です。

フィールドの違い

成果性 (高)  脳トレのフィールド



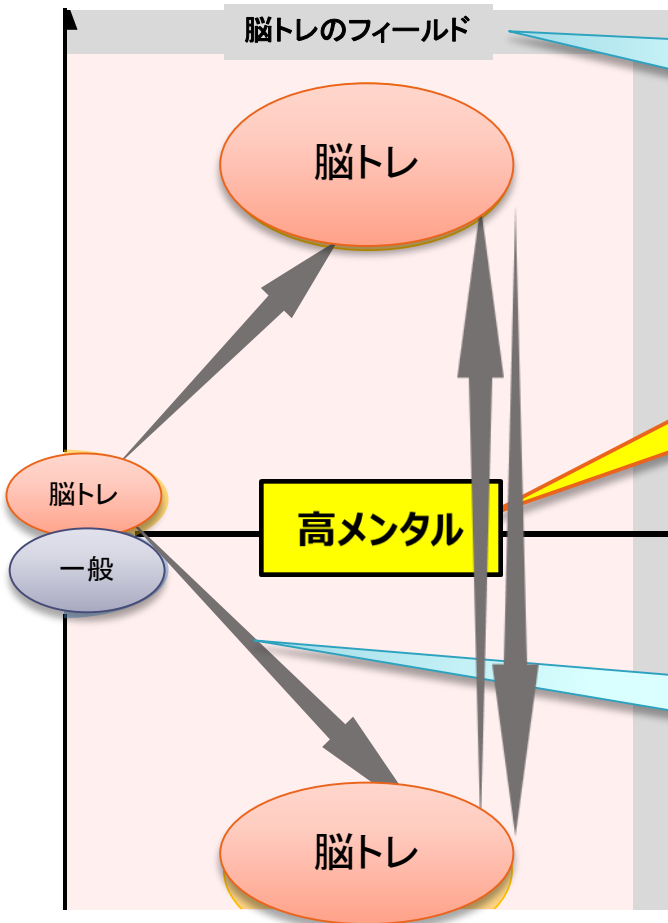

 ネガティブ
不快感・鬱
パフォーマンスアウト


 ポジティブ
幸福感・充実感

成果性 (低)

フィールドの違い

脳トレのフィールド



脳トレは、幸福感を向上させ、何があっても諦めないメンタルをつくります。

まずは右寄せ、高いメンタルを維持する力をつくります。

挑戦、チャレンジすることで
成果面が下がったとしても、逆境を楽しむ力をつくります。

成果性の違い

▶ 脳トレの成果性

想定以上の力

100%以上の力を発揮する

従来の形を破る

▶ その他、一般的メントレ

重要な場面・本番でも
100%の力を発揮させる

保有能力の100%発揮がゴール

脳のコントロールが与える影響とは？

- ▶ 他人の幸せを願い、**感謝した時に発生するホルモン**(オキシトシン・セロトニン)が、ストレス耐性、社交性、学習意欲の向上に作用し、**行動変容に繋がります。**
- ▶ 脳は幸せや喜びを感じた時、扁桃核が「快」を示した行動を繰り返します。
- ▶ **プラスホルモン中毒** (ドーパミン・エンドルフィン)にすることが可能。
- ▶ 心理が変われば行動が変わり、幸せに向けた活動に取り組むようになります。(良いホルモンが更に良いホルモンを生み出し続ける永久機関へ)

(参考資料)

高まる脳科学の必要性



令和2年度 国家研究予算要望費

健康・医療分野の研究開発の推進

令和2年度要求・要望額 103,430百万円
(前年度予算額 85,372百万円)
※復興特別会計に別途1,597百万円(1,597百万円)計上
※運営費交付金中の推計額含む



概要

○iPS細胞等による世界最先端の医療の実現や、疾患の克服に向けた取組を推進するとともに、臨床応用・治験や産業応用へとつなげる取組を実施。
○日本医療研究開発機構(AMED)における基礎から実用化までの一貫した研究開発を関係府省と連携して推進するため、文部科学省においては、大学・研究機関等を中心とした医療分野の基礎的な研究開発を推進する。

※日本医療研究開発機構に係る経費:総額726億円(復興特別会計を含む)

世界最先端の医療の実現

【再生医療】

京都大学iPS細胞研究所を中核とした研究機関の連携体制を構築し、関係府省との連携の下、革新的な再生医療・創薬をいち早く実現するための研究開発を推進。



○再生医療実現拠点ネットワークプログラム 9,066百万円(9,066百万円)

【ゲノム医療】

既存のバイオバンク等の研究基盤・連携ハブとしての再構築、大規模なコホート研究等を実施し、疾患の個別化予防等の次世代医療の実現に向けた基盤整備を推進。

○東北メディカル・メガバンク計画(健常者コホート) 3,582百万円(1,457百万円)
<参考:復興特別会計> 1,597百万円(1,597百万円)

臨床研究・治験への取組

【橋渡し研究】

アカデミア等の優れた基礎研究の成果を臨床研究・実用化へ効率的に橋渡しができる体制を我が国全体で構築し、より多くの革新的な医薬品・医療機器等を持続的に創出。



○橋渡し研究戦略的推進プログラム 5,979百万円(4,982百万円)

疾病領域ごとの取組

【がん】

がんの生物学的な本態解明に迫る研究等を推進して、画期的な治療法や診断法の実用化に向けた研究を推進。

○次世代がん医療創生研究事業 4,346百万円(3,651百万円)

【精神・神経疾患】

精神・神経疾患の克服に向け、非ヒト霊長類研究等の我が国の強みを生かし、ヒト脳の神経回路レベルでの動作原理等の解明を目指す。

○脳科学研究戦略的推進プログラム・革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト 7,505百万円(6,662百万円)

【感染症】

国内外の研究拠点による研究を推進し、感染症研究基盤の強化・充実に図るとともに、感染症の予防・診断・治療に資する基礎的研究を推進。

○新興・再興感染症研究基盤創生事業 4,438百万円(3,082百万円)

その他の重点プロジェクト等

【創薬支援】

創薬等の研究に資する高度な技術や施設等を共用する先端研究基盤を整備・強化して、大学等におけるライフサイエンス研究支援を推進。

○創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業 4,924百万円(2,924百万円)

【医療機器】

アカデミアの技術シーズを活用した医療機器等の開発や、将来の医療・福祉分野の在り方から振り返って設定したテーマに基づく研究開発を推進。

○先端計測分析技術・機器開発プログラム 2,573百万円(1,467百万円)

【その他】

医薬品開発、先端的な基礎研究、老化メカニズムの解明・制御に向けた取組、バイオリソースの整備、国際共同研究、産学連携の取組等を推進。

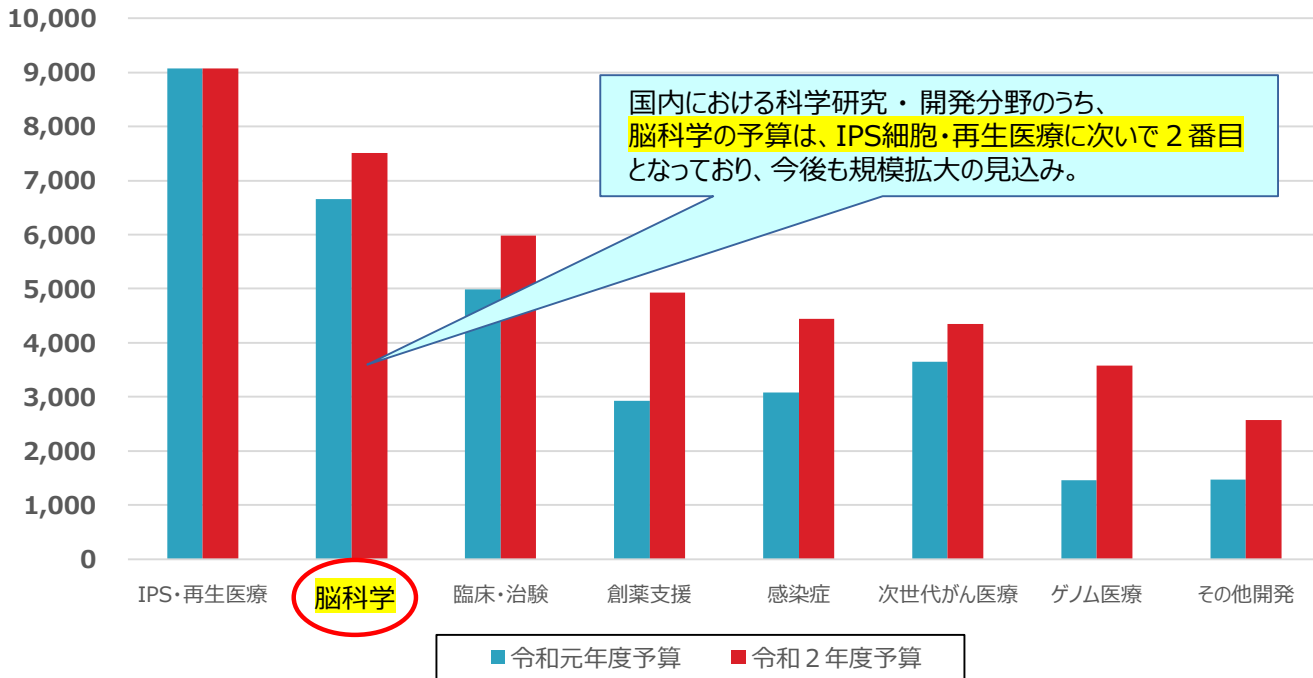
次年度の
脳科学研究
国家プロジェクト

次ページに
分析内容を
表示

※日本医療研究開発機構による支援とともに、理化学研究所や量子科学技術研究開発機構等において、健康・医療を支える基礎・基盤研究を実施。

令和元年・令和2年度 ライフサイエンスによるイノベーション創出事業予算(案)

(単位：百万円)

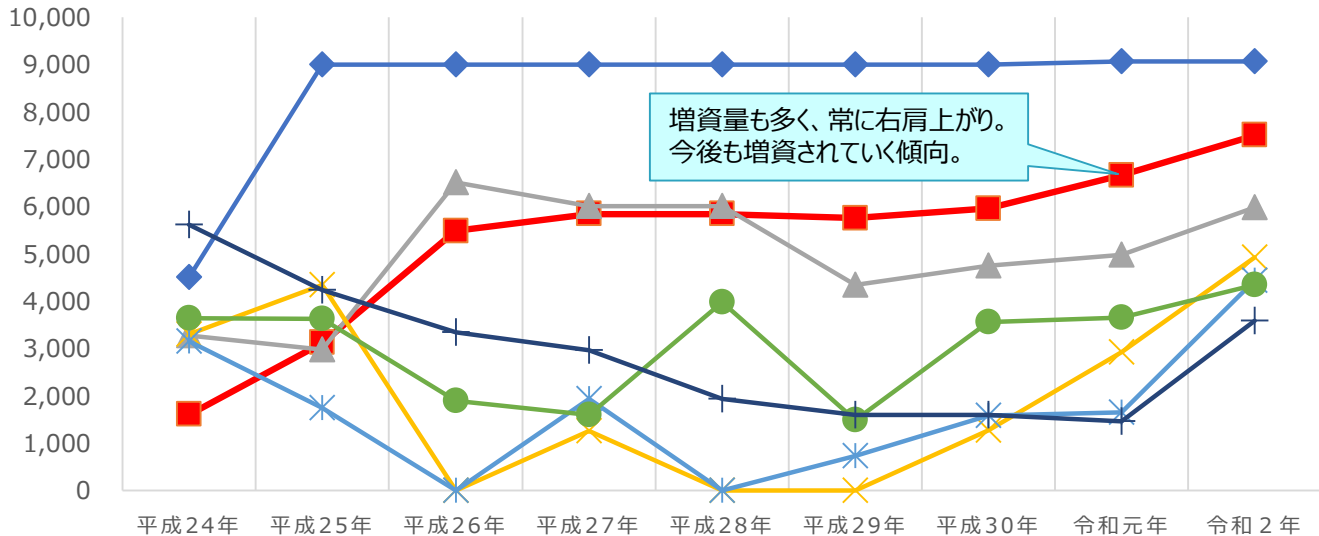


(単位：百万円)

	IPS・再生医療	脳科学	臨床・治験	創薬支援	感染症	次世代がん医療	ゲノム医療	その他開発
令和元年度予算	9,066	6,662	4,982	2,924	3,082	3,651	1,457	1,467
令和2年度予算	9,066	7,505	5,979	4,924	4,438	4,346	3,582	2,573

ライフサイエンスによるイノベーション創出事業 予算推移

(単位：百万円)



IPS・再生医療 脳科学 臨床・治験 創薬支援 感染症 次世代がん医療 ゲノム医療

	IPS・再生医療	脳科学	臨床・治験	創薬支援	感染症	次世代がん医療	ゲノム医療
平成24年	4,500	1,600	3,268	3,300	3,142	3,636	5,607
平成25年	8,993	3,120	2,967	4,340	1,735	3,629	4,235
平成26年	8,993	5,483	6,512	0	0	1,890	3,343
平成27年	8,993	5,837	6,004	1,250	1,928	1,585	2,957
平成28年	8,993	5,837	6,004	0	0	3,973	1,933
平成29年	8,993	5,755	4,347	0	720	1,483	1,593
平成30年	8,993	5,954	4,752	1,261	1,580	3,550	1,597
令和元年	9,066	6,662	4,982	2,924	1,650	3,651	1,457
令和2年	9,066	7,505	5,979	4,924	4,438	4,346	3,582
予算伸び率	201.5%	469.1%	183.0%	149.2%	141.2%	119.5%	63.9%

【期間】
平成24年～令和2年
予算 最多伸び率
469.1%
(脳科学研究)

(単位：百万円)

数値参照元：文部科学省HP 文部科学関係予算（案）主要事項一覧

講師ご紹介



SBT・脳力開発講師（JADA協会公認 SBTコーチ）
JADA 資格No. 1135775

久保 知也 くぼともや

環境がそれぞれ違う現場、そこに在籍する価値観が違う社員同士の
連携力アップ、および親睦を深める方法を追求し、
脳科学トレーニング法の学習と研究に着手。
2019年7月、SBT講師ライセンスを取得。

脳の仕組み、クセを駆使した能力開発を日々周知しております。

生まれ、育ち、環境が違えども、
すべての人を幸福にできる公式を研究・開発し、紹介して参ります。

【経歴】

- ・大手食品メーカー
人材教育部門、品質管理部門、生産管理部門
- ・大手小売業
物流部門の出納管理、現場管理